

(別添)

財政状況等一覧表（平成18年度）

(百万円)

団体名 印西市

標準財政規模 (A)	臨時財政対策 債発行可能額 (B)	合計 (A)+(B)
11,914	602	12,516

1 一般会計及び特別会計の財政状況（主として普通会計に係るもの） (百万円)

	歳入	歳出	形式収支	実質収支	地方債現在高	他会計からの 繰入金	備考
一般会計	20,588	19,884	704	582	18,805	98	基金から329百万円繰入
普通会計	20,588	19,884	704	582	18,805	98	

2 1以外の特別会計の財政状況（公営企業を含む公営事業会計に係るもの） (百万円, %)

	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	<法適用以外> 形式収支	純損益 (実質収支)	企業債(地方 債)現在高	他会計からの 繰入金	<法適用企業> 経常収支比率	<法適用企業> 不良債務	<法適用企業> 累積欠損金	備考
国民健康保険特別会計	4,055	3,973	82	82	-	295	-	-	-	基金から30百万円繰入
老人保健特別会計	2,930	2,890	40	40	-	289	-	-	-	
介護保険特別会計	1,922	1,779	143	143	-	365	-	-	-	
水道事業会計	507	465	-	42	289	185	109.0	0	201	法適用企業
下水道事業特別会計※	1,101	1,080	22	22	3,577	203	-	-	-	

(注) 1. 法適用企業とは、地方公営企業法を適用している公営企業である。
 2. 法適用企業に係るもの以外のものについては、「総収益」「総費用」「純損益」の欄に、それぞれ「歳入」「歳出」「実質収支」を表示している。
 3. 不良債務及び累積欠損金は、正数で表示している。
 ※印の会計における形式収支は、歳入歳出差引に収益的支出に充てた地方債、他会計借入金及び前年度からの繰越金を加えたものから、積立金及び前年度繰上充用金を控除したものであるため、歳入歳出差引と一致しないことがある。

3 関係する一部事務組合等の財政状況 (百万円, %)

	歳入 (総収益)	歳出 (総費用)	<法適用以外> 形式収支	実質収支 (純損益)	地方債(企業 債)現在高	当該団体の 負担金割合	<法適用企業> 経常収支比率	<法適用企業> 不良債務	<法適用企業> 累積欠損金	備考
千葉県市町村総合事務組合 (普通会計)	33,340	32,424	916	371	3	1.4	-	-	-	普通会計
千葉県市町村総合事務組合 (交通災害共済)	153	138	15	15	-	-	-	-	-	公営事業会計
印西地区衛生組合	244	238	6	6	62	36.1	-	-	-	
印旛利根川水防事務組合	14	13	0	0	0	8.2	-	-	-	
印西地区消防組合	2,437	2,413	25	25	1,923	45.2	-	-	-	
印旛市広域市町村圏事務組合 (一般会計)	321	294	27	27	-	8.9	-	-	-	
印旛市広域市町村圏事務組合 (公営企業会計)	3,757	3,394	-	363	7,705	-	110.7	0	65	法適用企業
印西地区環境整備事業組合	5,259	5,015	244	53	6,818	43.7	-	-	-	
千葉県後期高齢者広域連合	40	35	5	5	0	1.0	-	-	-	

4 第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況 (百万円)

	経常損益	資本又は 正味財産	当該団体か らの出資金	当該団体か らの補助金	当該団体か らの貸付金	当該団体か らの債務保証に 係る債務残高	当該団体か らの損失補償に 係る債務残高	備考
成田高速鉄道アクセス株式会社	△ 228	10,273	43	89	-	-	-	

(注) 損益計算書を作成していない民法法人は「経常損益」の欄には当期正味財産増減額を記入している。

5 財政指数

財政力指数	1.05	実質収支比率	4.9
実質公債費比率	23.3	経常収支比率	92.1

(注) 実質公債費比率は、平成19年度の起債協議等手続きにおいて用いる平成16年度から平成18年度の3年平均である。